

20年度重要対象分野のワーキング・グループ候補案

○「地方都市の活性化」

【背景】

- ・ 地方都市は、市街地の空洞化や郊外への拡散が進行
- ・ 公共投資の効率も低下

【評価の方向】

地域経済の牽引役である地方都市の活性化を図るために、コンパクトシティ（注）への転換が求められている中、各種政策がその方向に進んでいるかどうかを明らかにすることなどを通じて、効果的・効率的な政策を見極める。

（注）コンパクトシティ（集約型都市構造）：商業や公共サービス等多様な都市機能がコンパクトに集積し、子どもや高齢者を含めた多くの人にとって暮らしやすい賑わいと活力のある都市構造（「地域再生戦略」平成20年1月）

【関係府省】

内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省ほか

○「医師確保対策」

【背景】

いわゆる医師不足問題

【評価の方向】

これまでの医師供給政策を検証し、医師不足が生じた要因を明らかにすることなどを通じて、特定の地域や診療科の医師不足を効果的・効率的に解消する政策を見極める。

【関係府省】

文部科学省、厚生労働省

○「防災対策」

【背景】

- ・ 我が国では自然災害が繰り返し甚大な被害をもたらしてきた。
- ・ 厳しい財政状況から、公共事業による自然災害リスクの削減をこれまでのように進めることが望めない状況

【評価の方向】

公共事業による自然災害リスクの削減のみでなく、個人・企業による自助・共助の促進、保険や被災者支援によるリスク移転の視点からも評価を行い、効果的・効率的な政策を見極める。

【関係府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、農林水産省、国土交通省ほか

○「子どもの学力の向上」

【背景】

- ・子どもの学力の低下
- ・少子化による子どもの数の減少

【評価の方向】

学力を軸としたきめ細かな分析により、どのような子どもの学力が低下しているのかを把握するとともに、教員数、学級人数、授業時間数、地域と学力の関係を明らかにすることなどを通じて、効果的・効率的な政策を見極める。

【関係府省】

文部科学省

○「金融・資本市場の競争力強化」

【背景】

- ・ 1500兆円の個人金融資産について効率的な運用が行われていないとの指摘
- ・ 我が国の金融・資本市場の競争力の低下が懸念

【評価の方向】

日本版金融ビッグバン以降の一連の金融改革を検証し、「貯蓄から投資へ」、「東京市場をニューヨーク、ロンドン並みの国際金融市場にす

る」といった政策目標を達成する上で克服すべき要因を明らかにすることなどを通じて、効果的・効率的な政策を見極める。

【関係府省】

金融庁ほか

○「エネルギーの危機管理政策」

【背景】

- ・ 原油価格の高騰、世界的なエネルギー需要の増大、地球温暖化問題への対応など我が国を取り巻く環境の変化
- ・ 資源国における政情不安のほか、天災、事故、テロ、エネルギー市場への投機的資金の流入など、リスクそのものが多様化

【評価の方向】

エネルギー・リスクの多様化を踏まえ、石油備蓄制度のほか、ガスなどの備蓄、緊急時における円滑なエネルギーの供給対策など、エネルギーの危機管理政策を検証することにより、効果的・効率的な政策を見極める。

【関係府省】

経済産業省ほか

○「リサイクル及び廃棄物」

【背景】

大量生産、大量消費、大量廃棄型の経済社会活動により、環境問題や廃棄物の最終処分場の逼迫が発生

【評価の方向】

リサイクルによる廃棄物の減量と再生資源の有効活用についての効果を把握するとともに、リサイクルにより発生する新たな資源消費やコストなどの副作用をも把握することにより、効果的・効率的な政策を見極める。

【関係府省】

経済産業省、環境省ほか

○「水産業」

【背景】

水産物の世界的需要が高まる中で、我が国周辺の水産資源の状況が悪化するとともに、漁業就業者の高齢化などによる水産業の衰退が懸念

【評価の方向】

これまでの水産業への新規参入促進のための取組、水産資源の管理方式、漁港整備の効果の検証などを通じて、水産業を振興するための

効果的・効率的な政策を見極める。

【関係府省】

農林水産省

○「ODA」

【背景】

- ・我が国のODAは厳しい財政事情の下で予算を削減
- ・ODAの高コスト体質が指摘

【評価の方向】

ODAにおける「選択と集中」の具体化である国別アプローチやコスト縮減などによる効果を把握するとともに、援助額の減少による負の効果をも把握することにより、ODAの効果的・効率的な在り方を見極める。

【関係府省】

外務省ほか